

地図表示で一元的に把握

顧客情報管理システムを販売

東京技

東京技工（東京都千代田区、林光男社長）

は、1964年の創業開始以来、都市ガスパイプライン事業に関わる測量、調査、設計、維持管理などの業務のほか、システム開発を手掛けている。そのうちLPガス事業者向けに販売するシステムが、顧客情報管理マップングシステム「PIASGIS-FILER R（ピアスジャーアイエス・ファイラー）」だ。

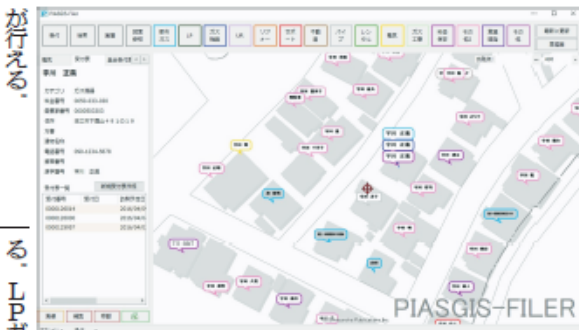
同システムは全顧客

情報を可視化し、商品ごとに異なるシステムで管理された顧客情報を一元化するマップングシステム。市販の地図ソフトを利用して、料金システムから抽出した住所データから地図上に顧客の位置情報を自動で配置。顧客の分布状況などを視覚的に把握することができ

る。自社が販売管理しているガス、灯油、電気、水などの情報や、競合他社情報の登録に

よる「見える化」を実現し、営業戦略ツールとしても活用可能。ガス器具の保守、保安対策、販売計画の立案にも貢献する。

顧客情報の更新は、現有の各顧客料金システムから最新情報を取り込み行う。また、電力顧客情報の管理機能を搭載。他のソフト



が行える。

そのほか、オプションで「ハザードマップ管理システム」も用意しており、ハザードエ

リア内の顧客一覧表作成や容器固定などの災害事前対応策、災害発生後の供給エリア全体や顧客別被災状況の登録・把握と普及対応策策定に活用できる。LPガス業界における採用も進んでおり、2020年11月の時点で8社が採用している。

この場合は、